

baby lock

1本針3本糸ロックミシン



ご使用のてびき



このたびはベビーロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

目次

1 安全にご使用いただくために	1
2 このロックミシンについて	2
1 各部の名称	3
2 付属品と縫うための準備 付属品／アンテナ・コントローラー・糸のセット	4
3 試し縫い 縫い始め／メスの固定／縫い終わり／空環の始末	6
4 押え圧力、かがり幅、送り目の調節	8
5 普通ロックでの縫い方	9
6 巻きロックでの縫い方	10
7 糸かけ 糸かけ全体図／ルーパーの糸かけの準備（はずみ車の固定）／ルーパーの糸かけが終わったら／下ルーパー糸／上ルーパー糸／針糸／太い糸のかけ方	11
8 メンテナンス ルーパースレッターの使い方／針の交換／メスの交換／掃除と注油について／照明ライトの交換	17
9 基本的な縫いテクニック 外角を縫う／内角を縫う／カーブを縫う／縫い目のほどき方	19
10 押え金の取り付け・取りはずし方／ 別売アタッチメント各種	21
11 修理を依頼される前に	22

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。

このミシンは、日本国内向け・家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY

▲ 警 告

→ 感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



▲ 注 意

→ 感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所 ・高い場所
 - ・お子様の手の届く場所 ・湿気の多い押し入れ等の中

※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。

- ◆ミシンは半年に一回程度、理想的には3ヶ月に一回は動かして下さい。

長期間使用しなかったために不具合が生じた場合は、販売店でのメンテナンスをお勧めします。

- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがつかないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・押え金を交換するとき
 - ・針を交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき

※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

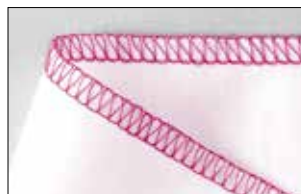
- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押しつけないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類(メスカバー等)はすべて閉じてください。
- ◆縫製中は自動針糸通しレバーを下げないでください。

このロックミシンについて

このロックミシンはエアスルーシステム(自動エア糸通し)をはじめとした、使う方の立場を考えた便利な機能が装備されています。それらの機能をご活用いただき、さらに下記以外にも工夫次第でいろいろな縫い方ができますので、あなただけのオリジナル作品を創造ください。

縫い方のいろいろ

■基本的な縫い

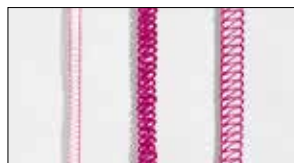


普通ロック (P9参照)
(1本針3本糸)
縁かがりとして。

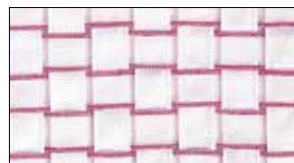


巻きロック (P10参照)
オーガンジーやジョーゼット
など、薄物の縁かがりに最適。
パーティードレスなどのフリル
やコサージュ作りには欠かせ
ません。もちろん巻きロック
でも縫い合わせができます。

■その他の飾り縫い



ピンクタック
ブラウス等の飾りとして



巻きロックの市松編み
両側を巻きロックで縫った布を
市松状に交互に重ねていきます。



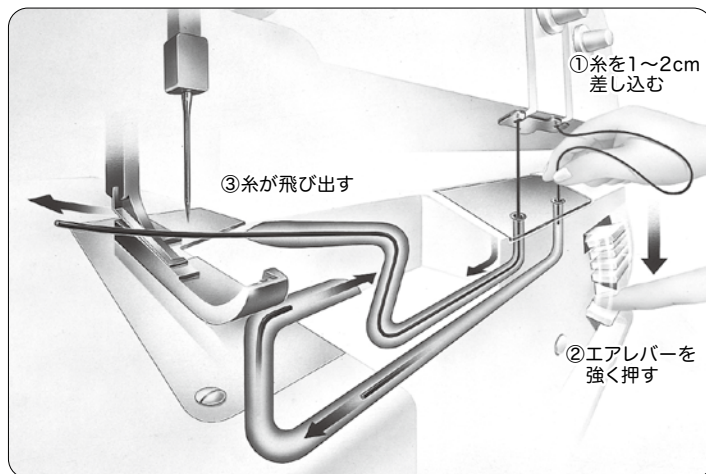
からかん
空環ブレード
ひもに空環を絡ませて、
飾りにします。

etc.

このロックミシンの主な特長

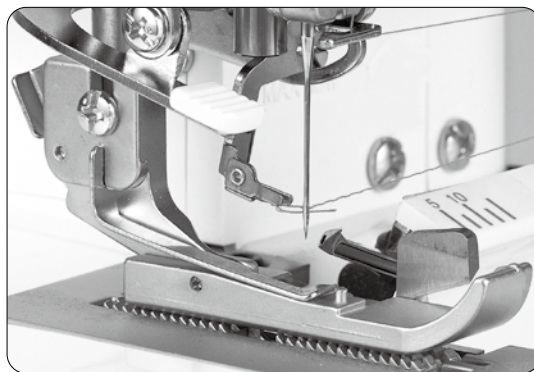
エアスルーシステム(自動エア糸通し)

いままでのロックミシンの最大の難点は糸通しの複雑さにありました。ところがこのミシンは、空気の流れを使って上ルーパー糸・下ルーパー糸を素早く通すことができます。(P12参照)



ラクスルー(自動針糸通し)

レバー操作で簡単に、小さな針穴に糸を通すことができます。(P15参照)



送り目ダイヤル

送り目(縫い目長さ:0.75~4mm)の変更はダイヤルを回すだけでできます。また普通ロック↔巻きロックの切換えもこのダイヤルでできます。(P8参照)



かがり幅変更ダイヤル

かがり幅(縫い幅)の変更はこのダイヤルを回して行います。3.0mm~5.0mm (P8参照)



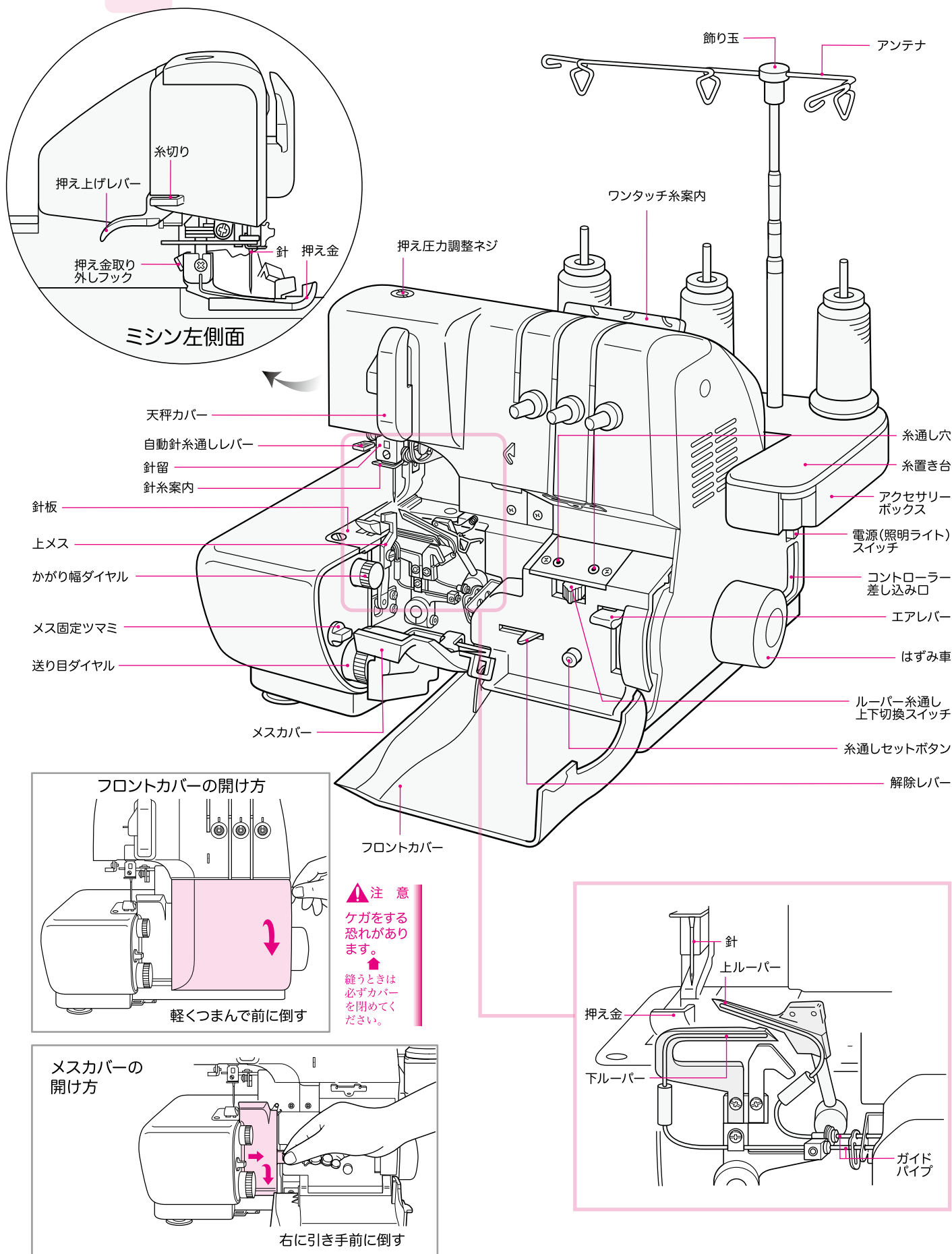
メス固定つまみ

メスを使用しないで縫いたい時は、このつまみをクルッと回すとメスが動かなくなります。ピンクタックなど生地を切らないで縫いたい時とても便利。(P7参照)



1

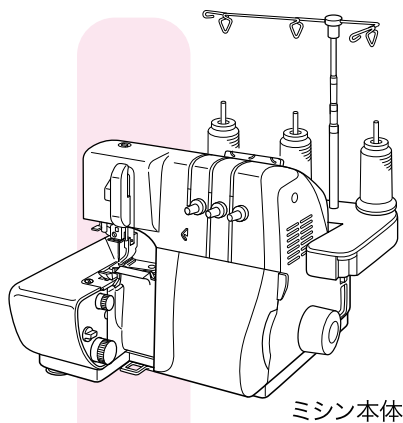
各部の名称



2

付属品と縫うための準備

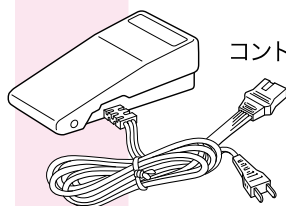
下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



ミシン本体



アクセサリケース



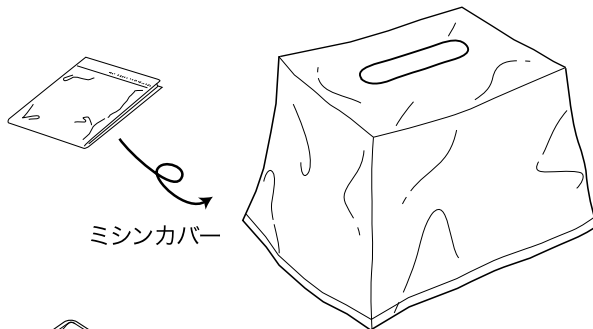
コントローラー

保証書

ご使用の
てびき

各部の
名称シール

アクセサリケース内



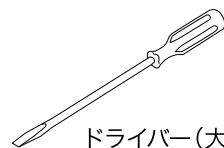
ミシンカバー



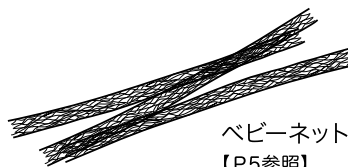
ループスレッダー
【P13/14/17参照】



駒受け(3個)
【P5参照】

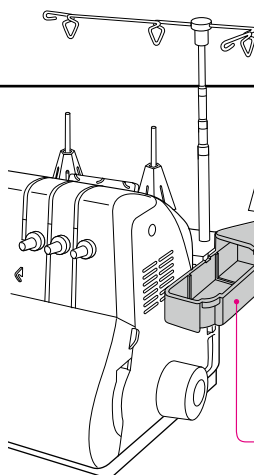


ドライバー(大)



ベビーネット(3つ)
【P5参照】

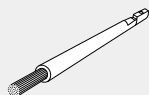
アクセサリボックス内



糸置き台

糸置き台をスライドさせるように
親指で右方向に押す。

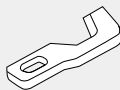
アクセサリボックス



掃除用ブラシ
(針交換用具兼用)



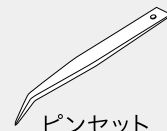
ドライバー(小)



上メス
【P18参照】



針(HA×1SP#11)
【P17参照】



ピンセット

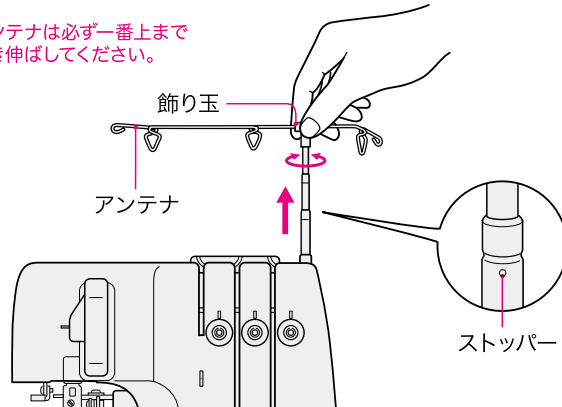
縫うための準備

1) アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上に引き伸ばす。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。

注 アンテナは必ず一番上まで引き伸ばしてください。



2 アンテナを左右に振ってストッパーを固定する。

2) コントローラーのセット

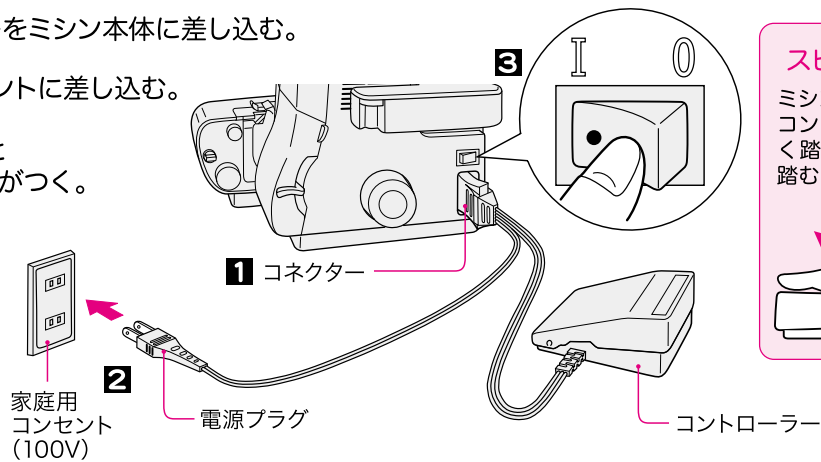
1 コントローラーのコンネクターをミシン本体に差し込む。

2 電源プラグを家庭のコンセントに差し込む。

3 電源スイッチを[I]にすると通電状態となり、照明ライトがつく。

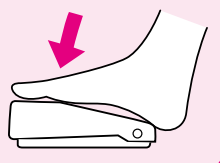
注意 火事の原因になります。

- ◆ プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
- ◆ コントローラーの上に物を乗せない。
- ◆ 電源コードを抜くときは電源スイッチを切ってからプラグを持って抜く。コードを引っ張らない。



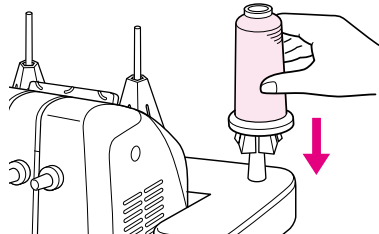
スピードの調節

ミシンの縫い速度はコントローラーを強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。



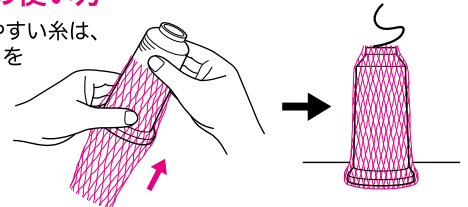
3) 糸のセット

テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。



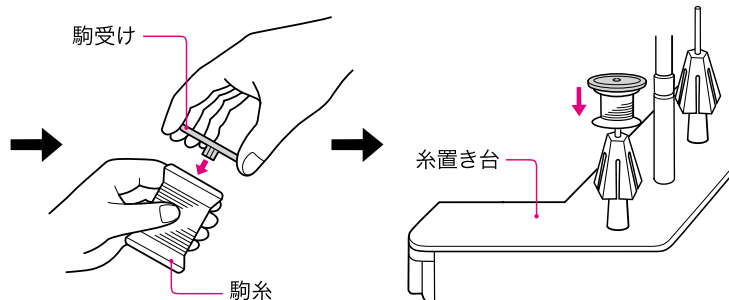
●ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



●駒受けの使い方

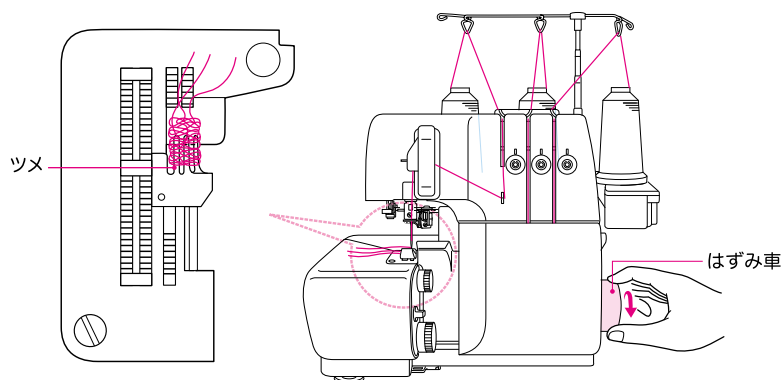
普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」をご使用ください。



試し縫い

縫い始め

1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がかかっていることを確認する。



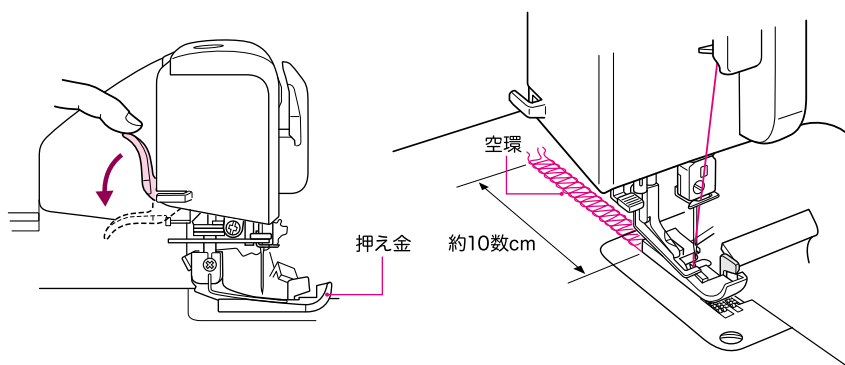
2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。

注意

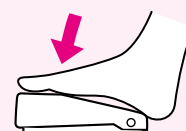
ケガをする恐れ
があります。



針・ルーパー・メスの動く範囲に指や手を持っていきなさい。



コントローラー

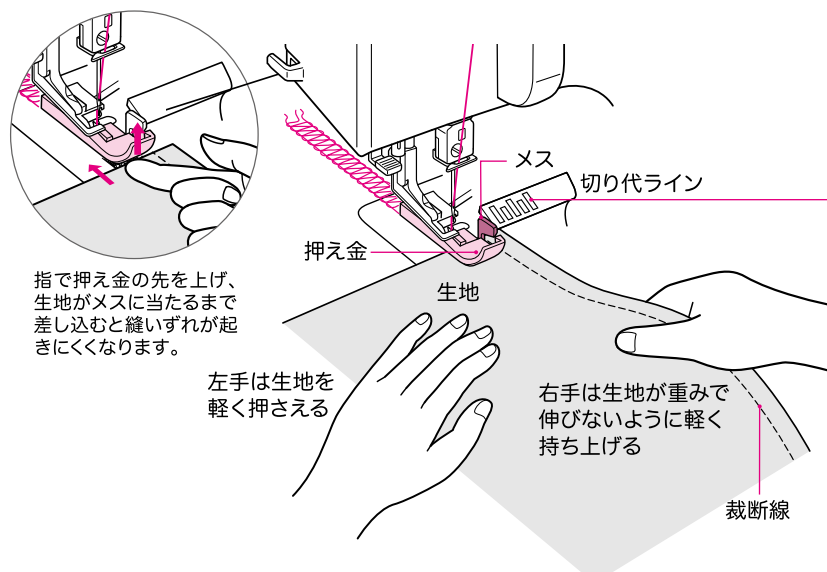


スピードの調節

強く踏むと早く、
弱く踏むと遅くなります。

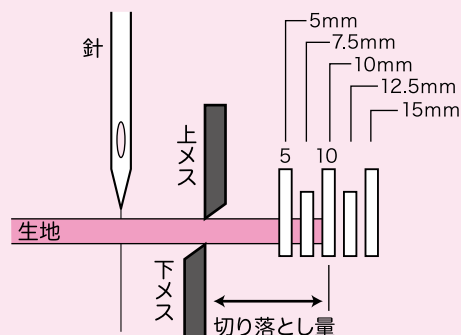
3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。
縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。



切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。
生地端を5の線に合わせると約5mm切り落とし、
10の線に合わせると約10mm切り落とします。



切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合はチャコペン等で生地に裁断線を記入してから縫う事をお勧めします。

ワンポイント

まち針が刺さったまま気づかず縫い進めてメスに触れるとメスの切れ味が悪くなったり、まち針が折れて危険です。
布の仮止めにはソーイングクリップをお勧めします。

カーブやバイヤスを縫うときに生地がはずれやすい場合は、P20「カーブを縫う時のポイント」を参考にしてください。

4 コントローラーを踏んで縫い始める。

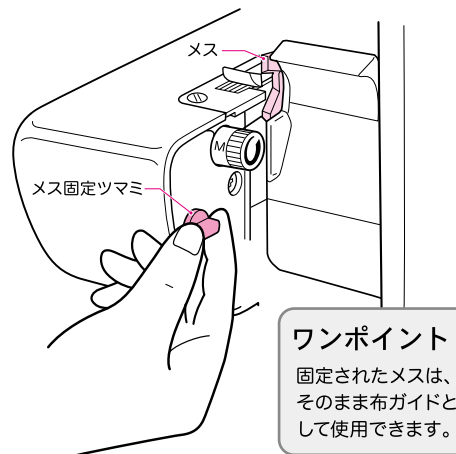
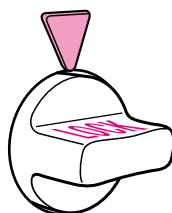
初心者にお勧め！ →

★メスを使わないで縫う

厚地を縫う場合や何枚も重ねて縫う場合は、仕上り線まで裁っておいてから、メスを使わずに縫うとスムーズに縫うことができます。
また失敗したときでも、切っていないので、もう一度ほどこいてやり直すことができます。

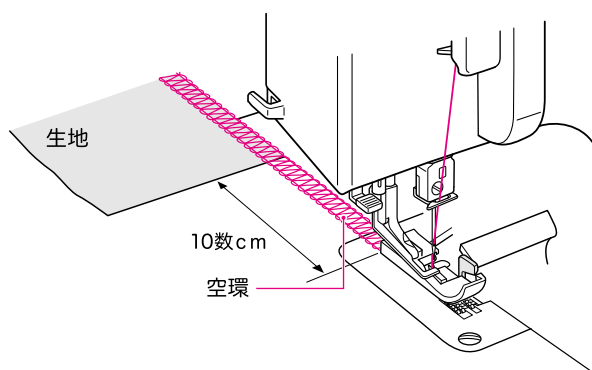
メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メス固定ツマミを【LOCK (固定)】側に回転させてください。メスが動かなくなります。

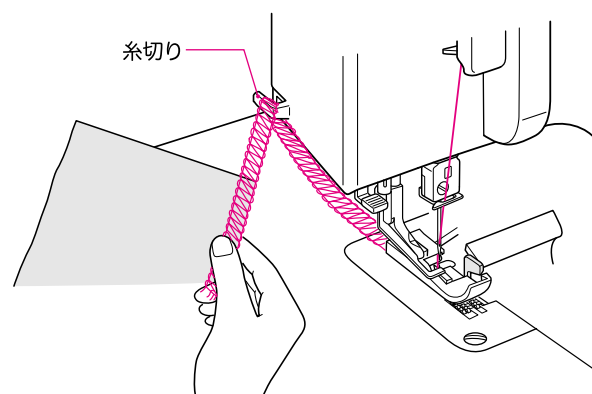


縫い終わり

- 1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、
「空環」を約10数cm出しておく。

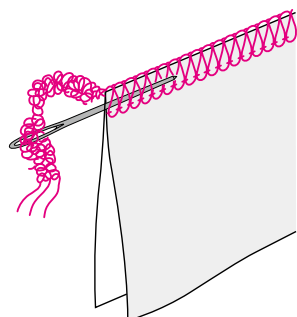


- 2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。

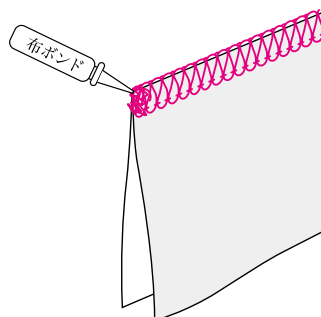


「空環」の始末

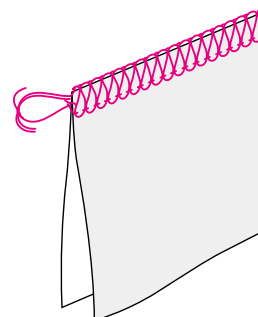
縫い終わった後の「空環」の始末には右のような方法があります。



- とじ針で裏の縫い目に通しておきます。



- 「空環」を布端で切って布ボンドで固めます。



- 「空環」の糸をほぐして結びます。

4

押え圧力、かがり幅、送り目の調節

押え圧力の調節

滑りやすい生地や、厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。

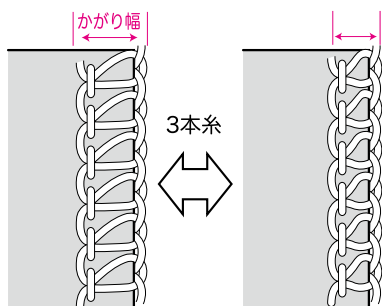
コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節してください。

押え圧力調節ネジ

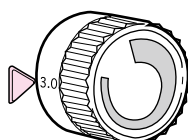
強くなる 弱くなる

このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合わせて調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。

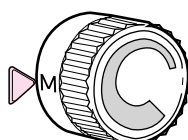
かがり幅の調節



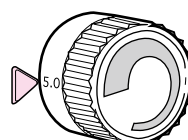
「かがり幅ダイヤル」を回して、3.0mm～5.0mmの範囲で調節してください。



3.0mm幅

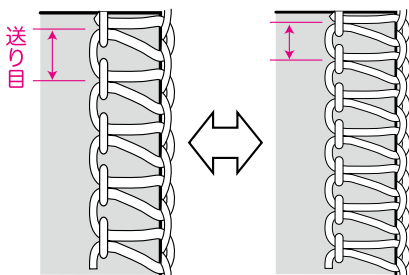


3.5mm幅

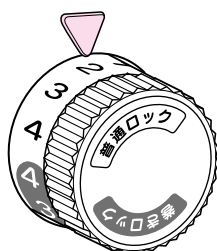


5.0mm幅

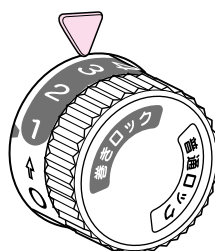
送り目の調節



「送り目ダイヤル」を回して、普通ロック・巻きロックともに0.75～4mmの範囲で調節できます。



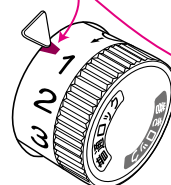
普通ロック側



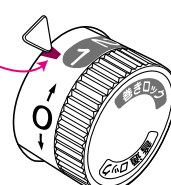
巻きロック側

ワンポイント

この ■ 位置は0.75mmを示します。



普通ロック



巻きロック

5

普通ロックでの縫い方

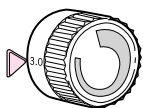
このミシンは、多くの場合、糸調子のダイヤル“4”で縫い目のバランスがとれるようになっていますが、布地の種類や厚さ、また糸の種類や太さによって、縫い目が乱れる場合があります。その場合は、バランスのとれた美しい縫い目になるように、各糸調子ダイヤルで調整してください。

ワンポイント

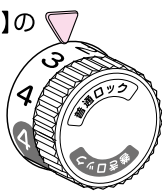
縫い目がきれいにできない場合は、溝の間にある2枚の糸調子皿から、糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げると、この皿が開くので、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

溝の間に2枚の糸調子皿がある

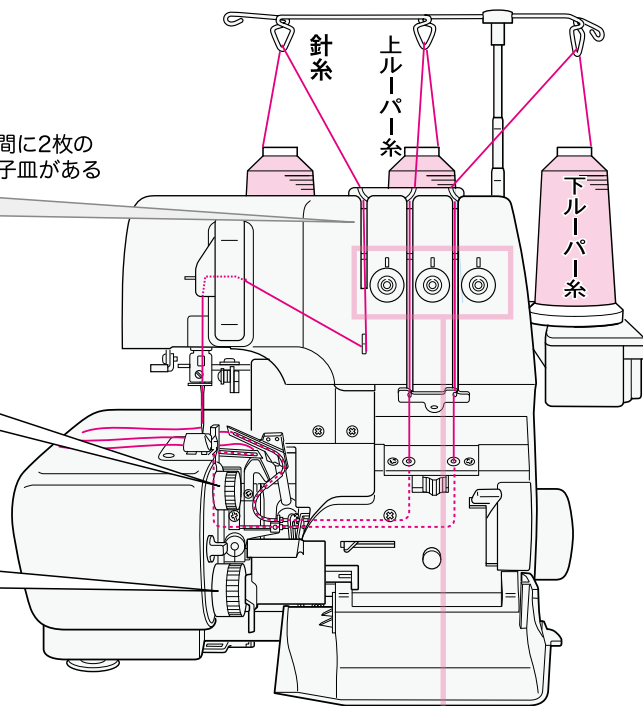
「かがり幅ダイヤル」を合わせる。
(生地の種類や好みによって)



「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字0.75～4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

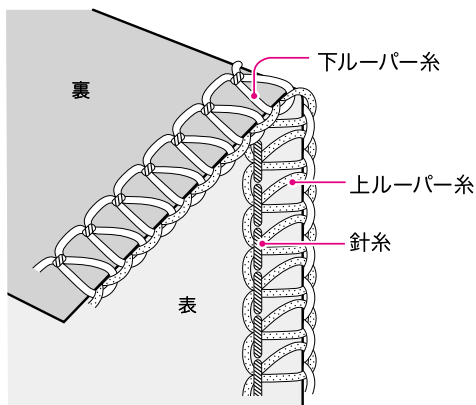


※ 1の印が0.75



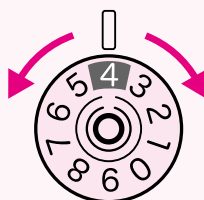
糸調子のとり方

バランスのとれた美しい縫い目

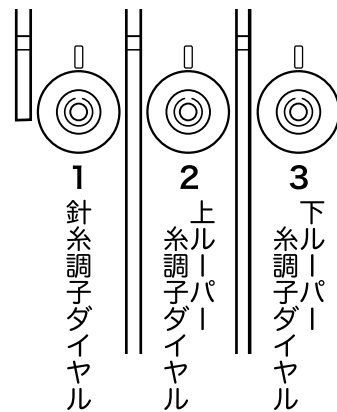


糸調子ダイヤル

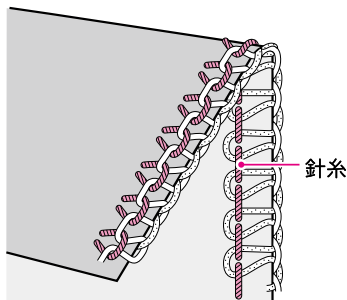
数字が小さくなるにしたがって糸調子は弱くなる。



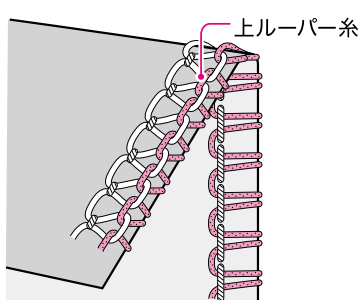
数字が大きくなるにしたがって糸調子は強くなる。



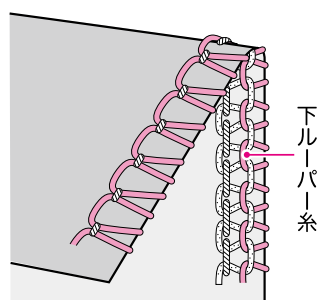
針糸が弱すぎる場合



上ルーバー糸が裏側に巻き込む場合



下ルーバー糸が表側に巻き込む場合



6

巻きロックでの縫い方

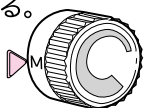
このミシンは、布端をひと折りしながら細くかがっていく【巻きロック】で縫うことができます。巻きロックには、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。オーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

ワンポイント

【変形巻きロック】をする場合の糸は、針糸と下ルーパー糸に細めの糸を、上ルーパー糸にはウーリーナイロン糸を使うと見た目にもきれいに仕上がります。

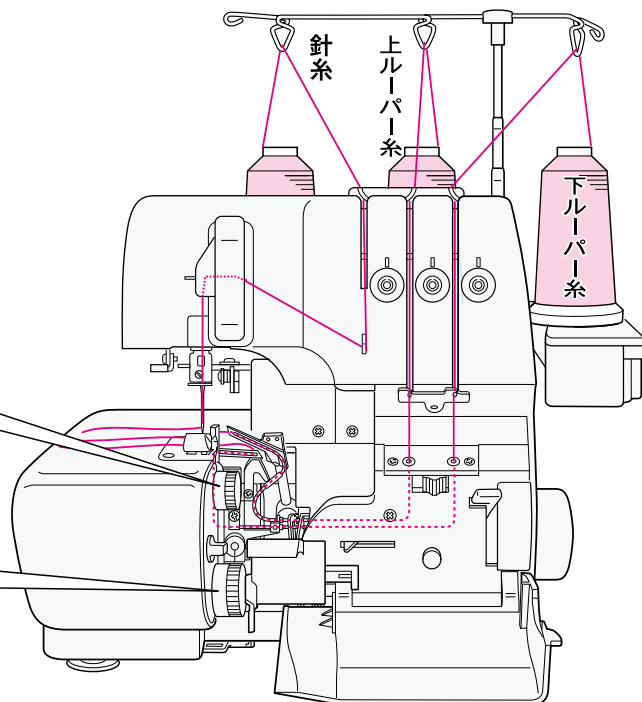
「かがり幅ダイヤル」をMに合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字 0.75~4 に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

※ 0.75 の印が0.75

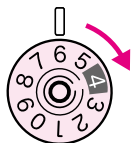


糸調子のとり方

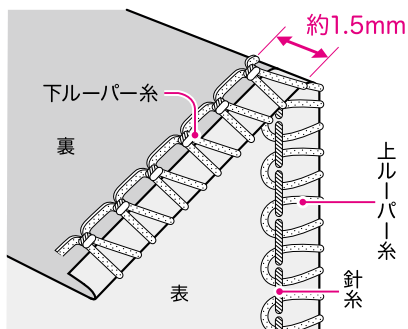
【変形巻きロック】のバランスのとれた美しい縫い目

※通常「巻きロック」といえばこの「変形巻きロック」を指します。

「変形巻きロック」は下ルーパーの糸調子の数値を普通ロックの時よりも2~3強めてください。

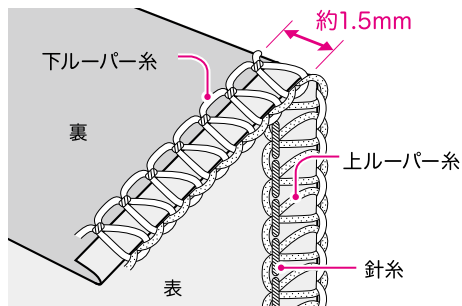


③ 下ルーパー糸調子ダイヤル



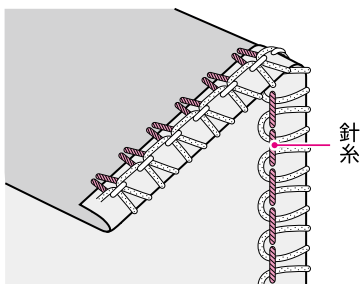
上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。上ルーパー糸にウーリー糸を使用すると、細い縫い目が強調され印象的です。

【標準巻きロック】のバランスのとれた美しい縫い目

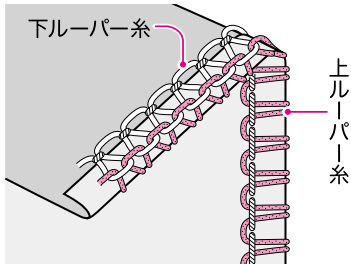


布端をひと折りしながら、細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。

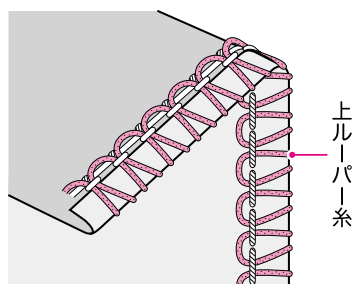
針糸が弱い場合



上ルーパー糸が強すぎる、または下ルーパーが弱すぎる場合



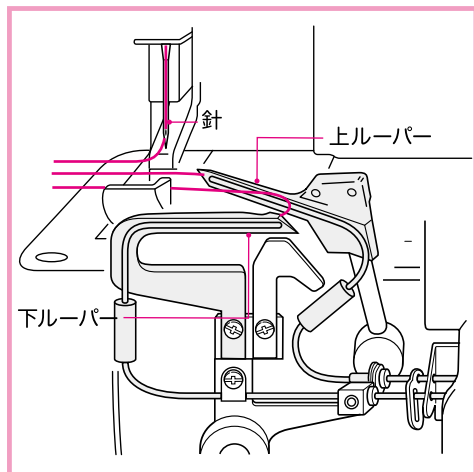
上ルーパー糸が弱すぎる場合



糸かけ全体図

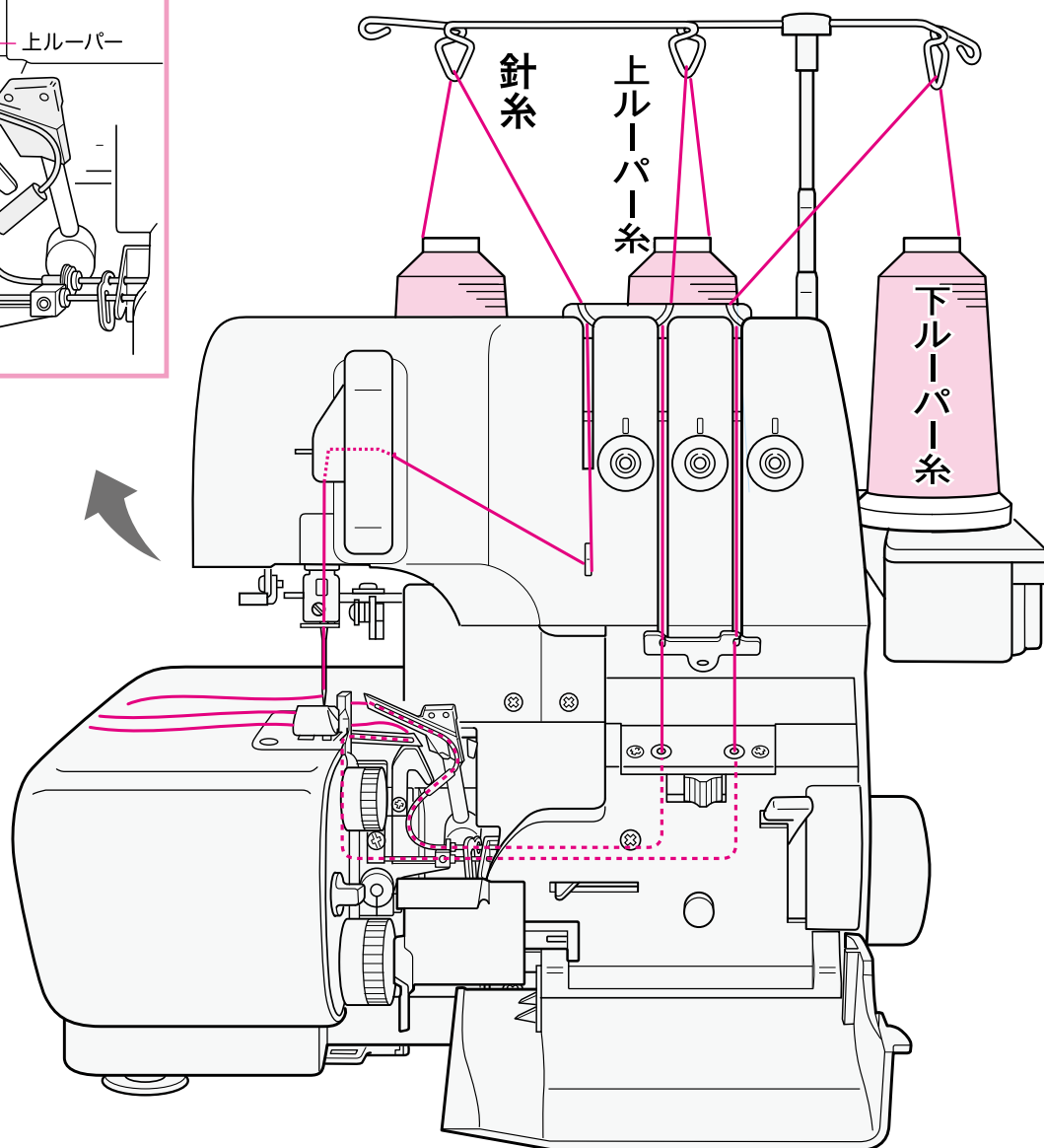
- ◆上／下ルーパー糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(右ページ参照)
- ◆ラクスルー(自動針糸通し)を使って、針穴に糸を通す場合は必ず「はずみ車の緑の指針を合わせて」ください。(P15参照)

どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。



⚠ 注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。



□使用する糸について

ルーパー糸には、テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、金糸、極細毛糸など、糸道のパイプに無理なく入る糸であれば、市販されているほとんどの糸を使用することができます。

針糸には、通常スパン糸が使用されます。

また普通ミシンと違い、伸縮性のあるニット地等を縫う場合でも、水着やレオタードなどの特別な場合を除き、レジロン等の伸縮性のある糸を使う必要はありません。

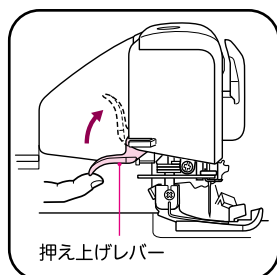
※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。

ルーパーの糸かけをするときは**エアスルーシステム(自動エア糸通し)**を使います。エアスルーシステムは、まず下記の「**はずみ車の固定**」を行ってください。また、糸かけが終わったら忘れずに「**固定の解除**」を行ってください。

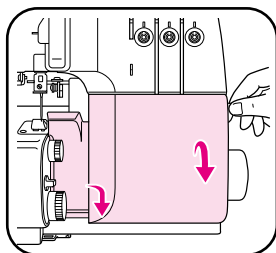
ルーパーの糸かけの準備

●はずみ車の固定

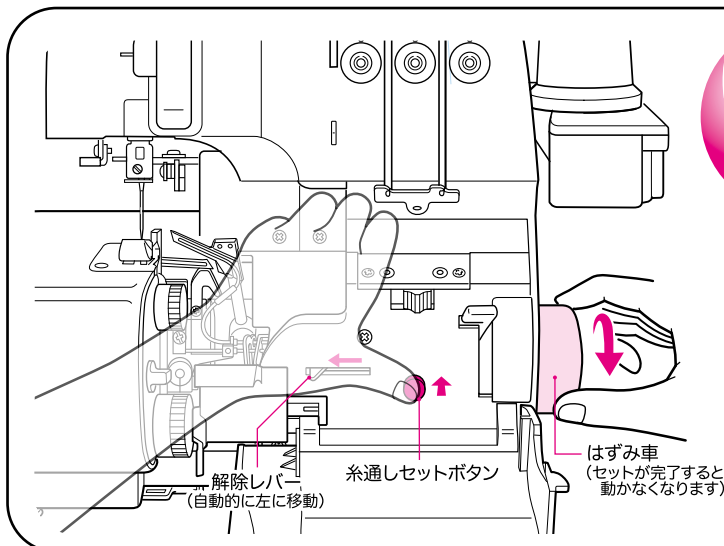
1 押え上げレバーで押え金を上げる。



2 フロントカバーとメスカバーを開ける。



3 糸通しセットボタンを押しながら「カチッ」と音がするまではずみ車を回す。



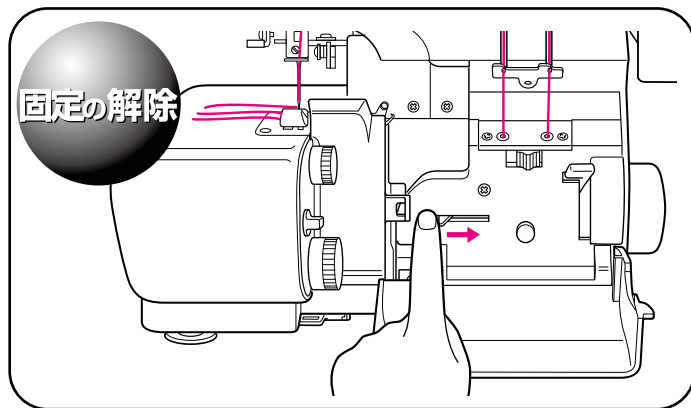
はずみ車の固定

セットが完了すると、**はずみ車**が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらはずみ車を少しだけ前後に回してください。

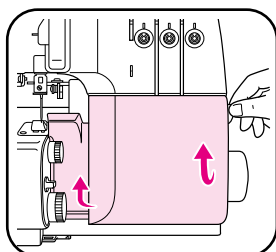
P13およびP14にしたがって糸をかける

ルーパーの糸かけが終わったら

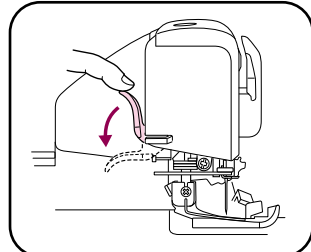
1 解除レバーを右にスライドさせる。



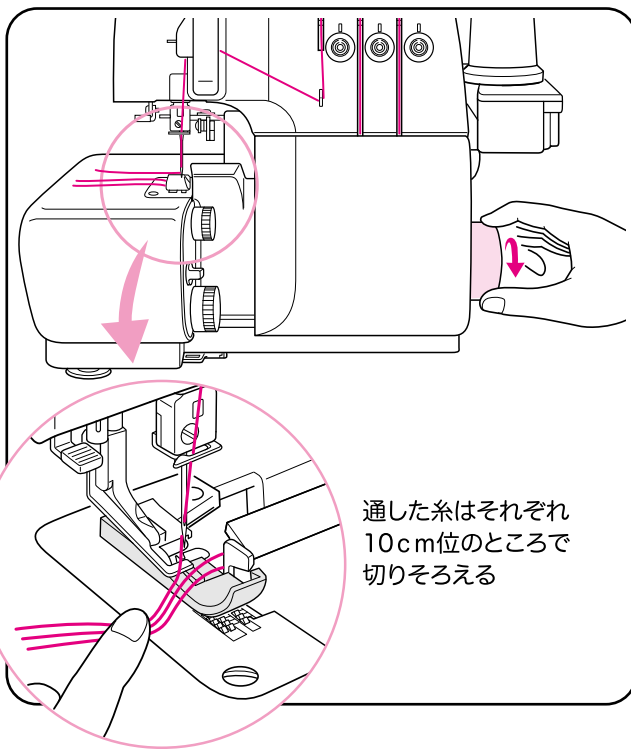
2 カバーを閉める。



3 押え上げレバーで押え金を下げる。

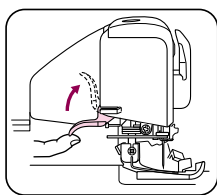
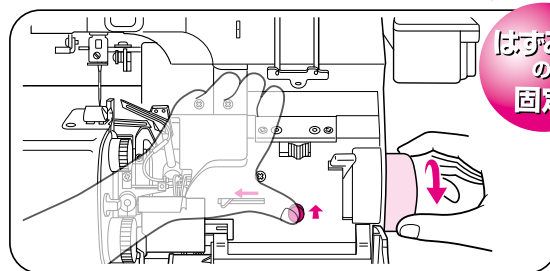


4 最後に3本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



下ルーパー糸

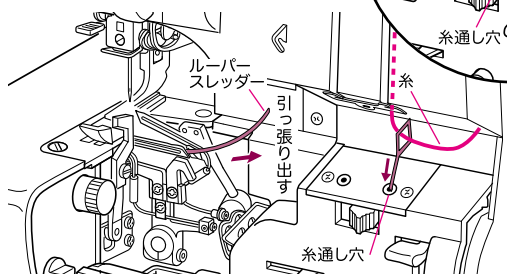
1 押え金を上げる。

2 「はずみ車の固定」をする。(P12参照) **重要**

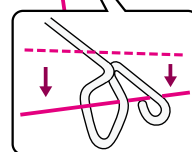
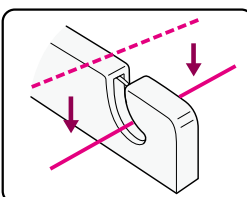
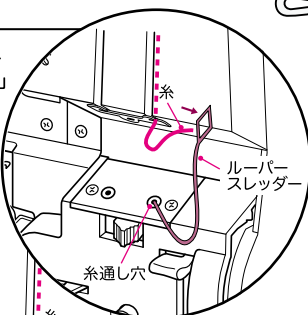
3 番号にしたがって糸をかけていく。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!

【付属】
ルーパースレッダー
(糸通し具兼掃除具)



パイプの掃除具としてもお使いいただけます。



最後に糸は押え金の上を
通って左方向に
持っていきます

エアレバーを押し下げ
ると「下ルーパーの先端」
から糸が勢よく右
方向へ飛び出します。

下ルーパー

ワンポイント

糸を交換する場合は
ルーパーから糸を完全
に抜き取ってください。
古い糸が残っていると
エアレバーを押しても
糸は通りません。

U ↔ L
切換スイッチを
「下ルーパー=L」にする

①20~30cm
引っ張り出して
フロントカバーの
内側にたらす

②糸通し穴に糸の先端
を約1~2cm挿入する

約1~2cm

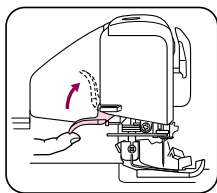
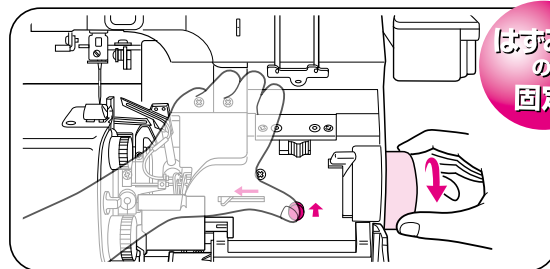
③エアレバー
を強く押し下
げる

フロントカバー

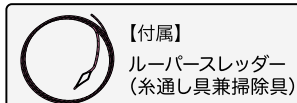
3 「固定の解除」(P12)をしてから縫い始める **重要**

上ルーパー糸

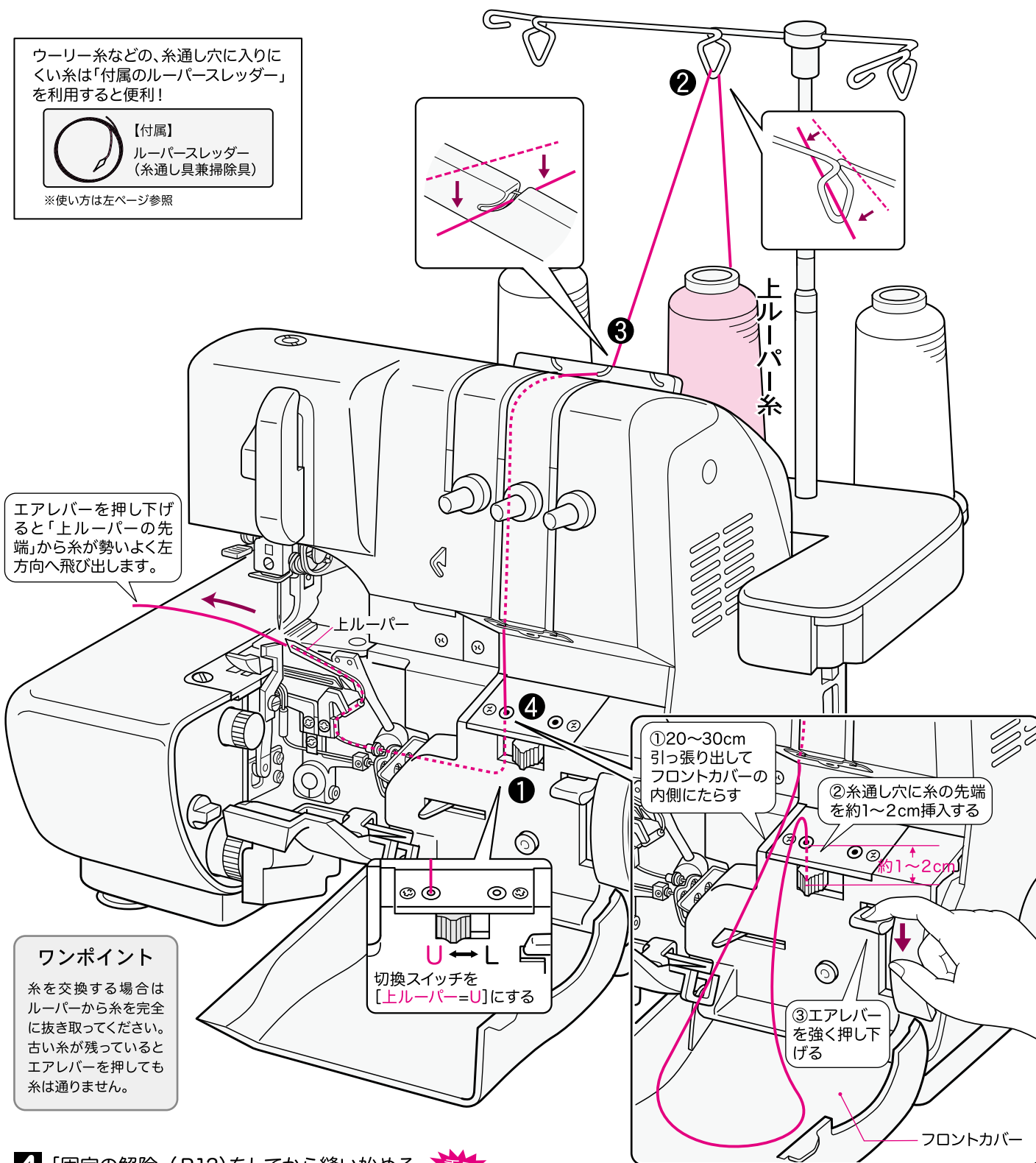
1 押え金を上げる。

2 「はずみ車の固定」をする。(P12参照) **重要**はずみ車の
固定3 番号にしたがって糸を
かけていく。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りに
くい糸は「付属のルーパースレッダー」
を利用すると便利!

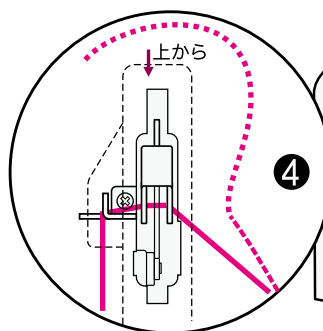
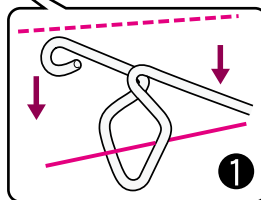
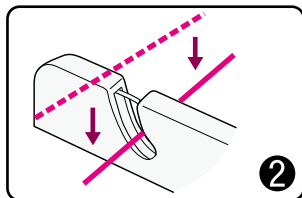
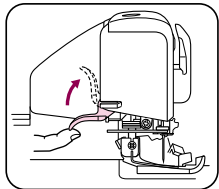


※使い方は左ページ参照

4 「固定の解除」(P12)をしてから縫い始める **重要**

針糸

- 1** 押え金を上げる。 **2** 番号にしたがって糸をかけていく。



ラクスルー(自動針糸通し)を使って針穴に糸を通す

5

4

3

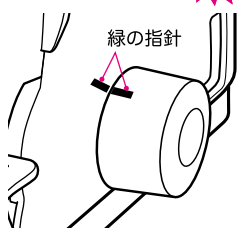
2

針糸

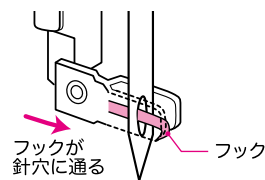
ラクスルー (自動針糸通し)の 使い方

- (1)** はずみ車の緑の指針を合わせる。

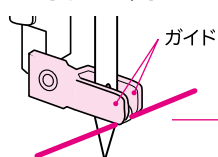
重要



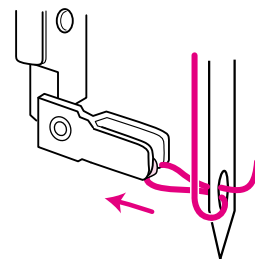
- (2)** 糸通しレバーを下げる



- (3)** 右指で糸を張り、ガイドに糸を下からひっかける



- (4)** 糸通しレバーをゆっくり戻すとフックが糸をひっかけて針穴に通します



注 「はずみ車の固定」をしていない状態では糸通しレバーを絶対に動かさないでください。

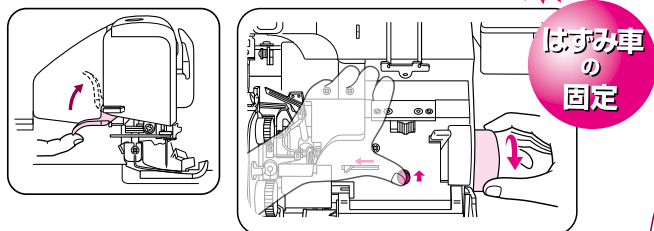
- 3** 「固定の解除」(P12)をしてから縫い始める **重要**

太い糸のかけ方

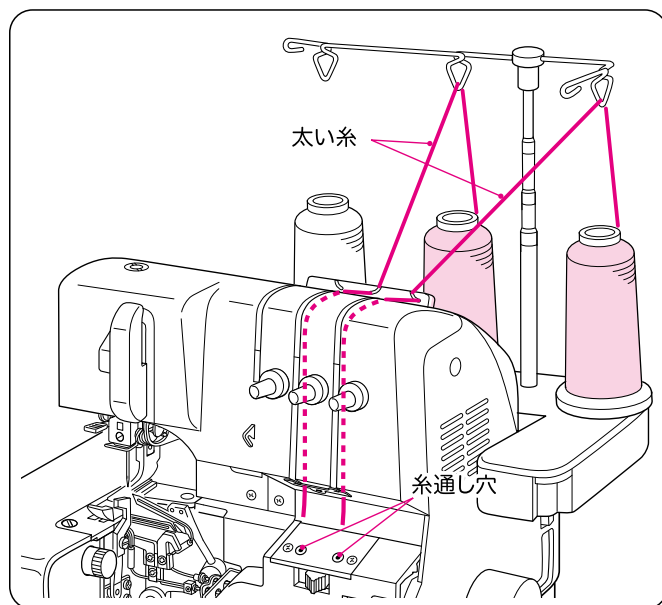
極細毛糸や刺しゅう糸など

【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

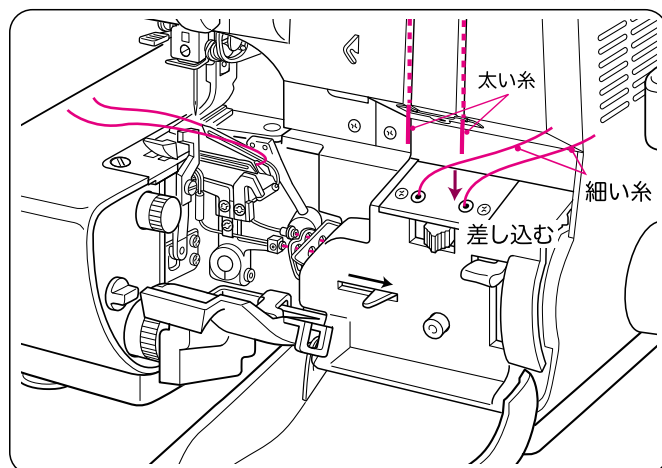
1 「はずみ車の固定」をする。(P12参照) **重要**



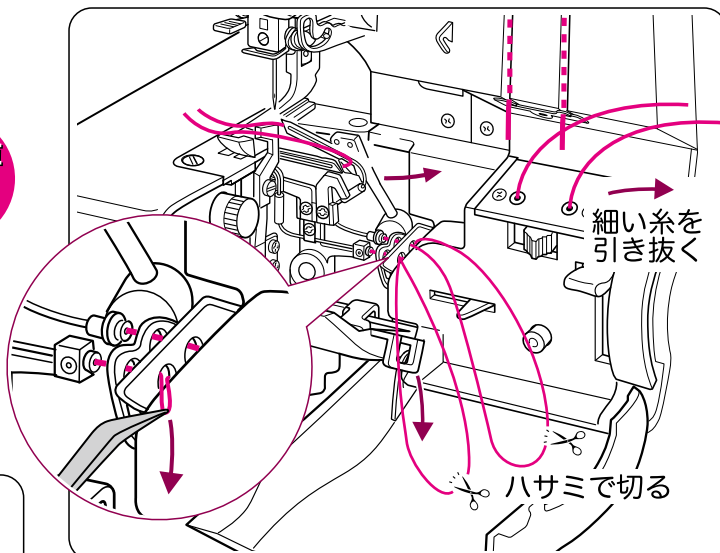
2 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P13、14参照)



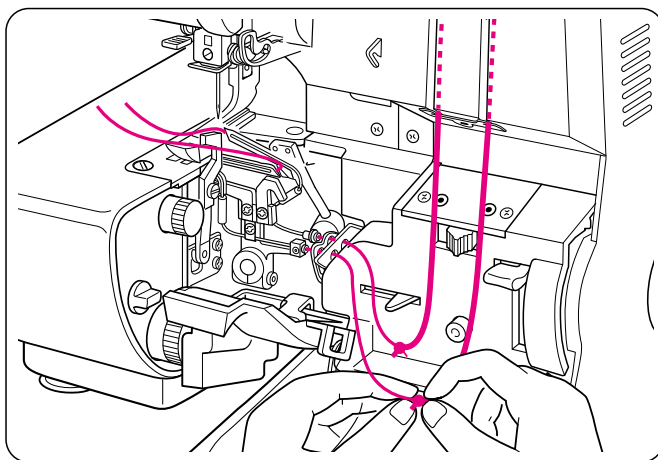
3 エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと (P13、14参照)、「固定の解除」を行う (P12参照) **重要**



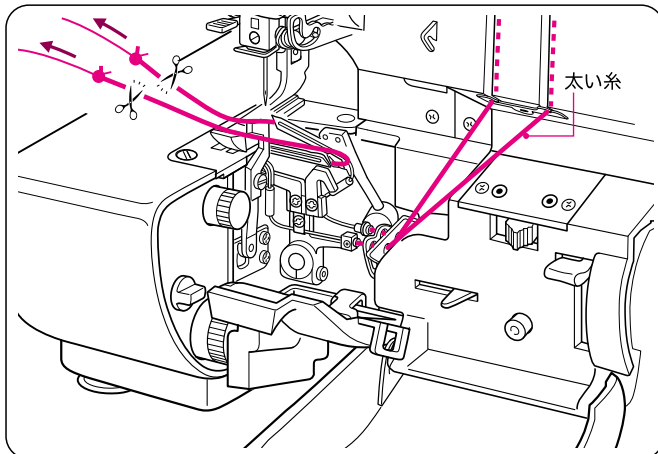
4 ピンセットで糸を引き出して切る。



5 太い糸と細い糸を結ぶ。



6 結び目を引き出して切る。





ケガをする
恐れが
あります。
注意

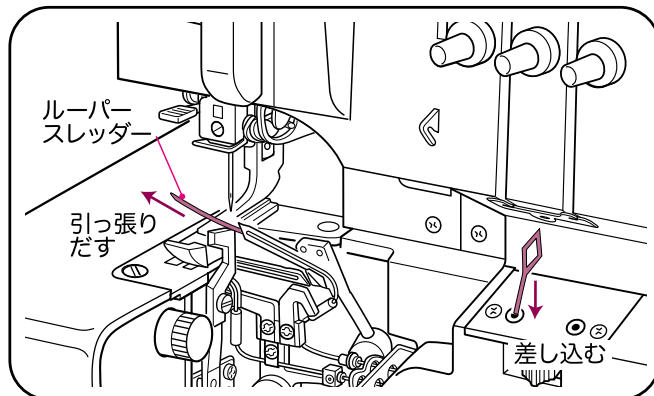
針・メス・ランプなど各種の交換や掃除など、メンテナンスをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ルーパースレッダーの使い方

付属の『ルーパースレッダー』は“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。



ルーパースレッダー



① 掃除具として

まず「はずみ車」の固定(P12参照)をします。次に「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』(P4参照)を差し込み、ルーパーの先端から出てきたら引っ張り出します。この作業を数回繰り返すと、パイプにたまった糸クズが取れます。

② 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数cm入れ、①と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパーの先端から引っ張り出します。

針の交換

針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

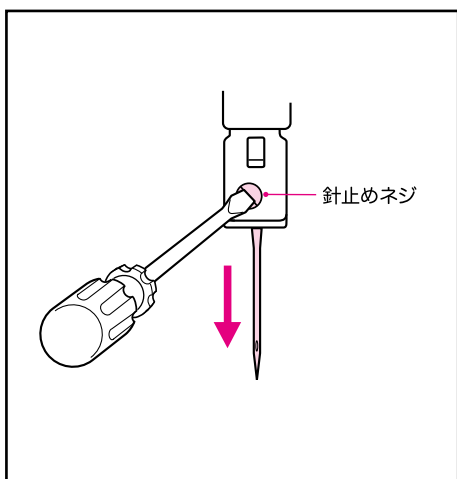
このミシンの針は必ず **オルガンHA×1 SP** をご使用ください。

この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンHA×1」の針の使用をおすすめします。

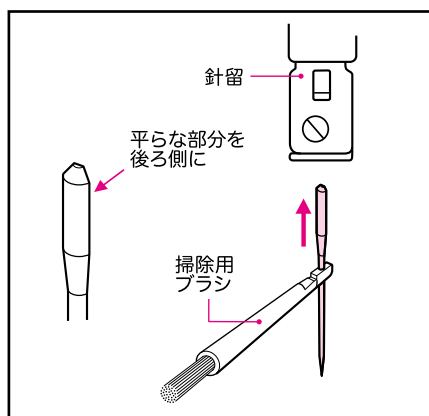
推奨する針の太さ…薄地～中厚地：#11 中厚地～厚地：#14 ※針は数字が大きくなるほど太くなります。

1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げる。

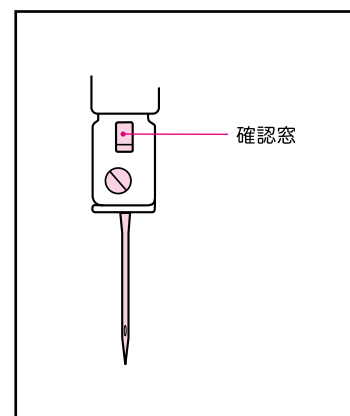
2 付属のドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。

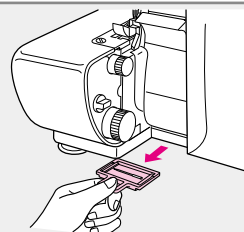


4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。



ワンポイント

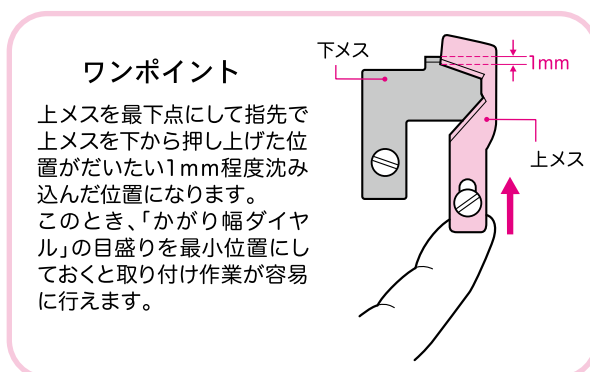
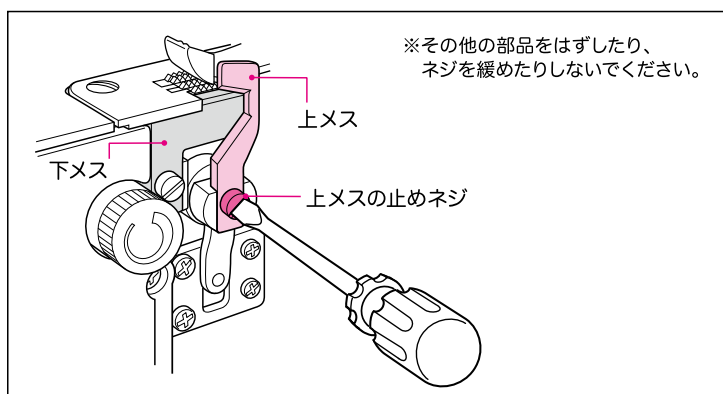
針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」(付属P5参照)を交換してください。

- 1 フロントカバーとメスカバーを開く。
- 2 はずみ車を回して、上メスを最も下に降りた地点で止める(最下点)。
- 3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。
- 4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。



掃除と注油について

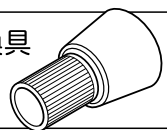
このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため、切りクズがたまります。掃除機を使ってホコリを吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。また、音が高くなったりした場合は、駆動部(動いている部分)に1~2滴、ミシン油を注してみてください。

注 エアスルーシステムのパイプの穴部分には絶対に油を入れないでください。

照明ライトの交換

照明ライトの交換は、別売りの「照明ライト交換具」を販売店でご購入いただき下記のように行ってください。

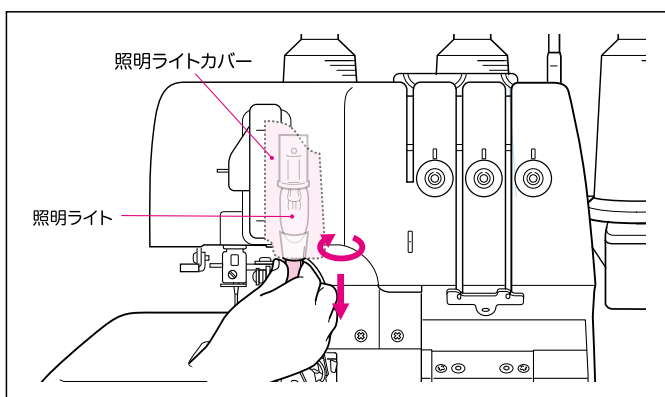
照明ライト交換具
(別売り)



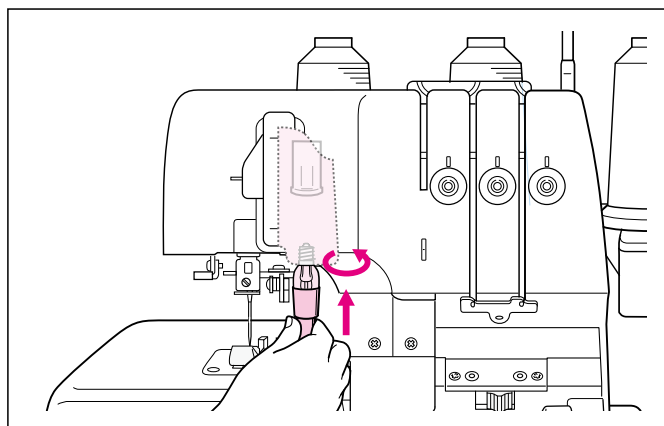
照明ライト: 100V15Wミシン球

※ミシン販売店および電器店にてお買い求めください。

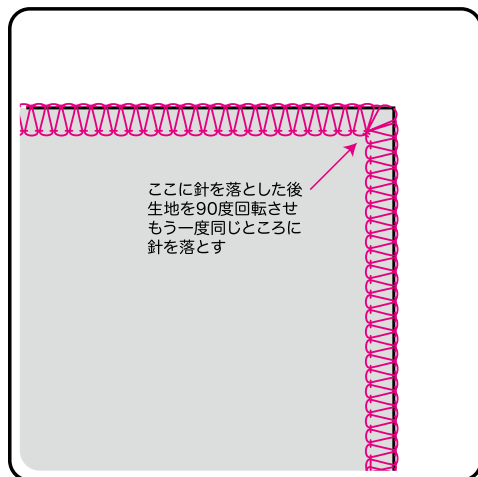
- 1 別売りの「照明ライト交換具」を右図のように照明ライトの付いているあたりに差し込み、回しながら照明ライトをはずす。



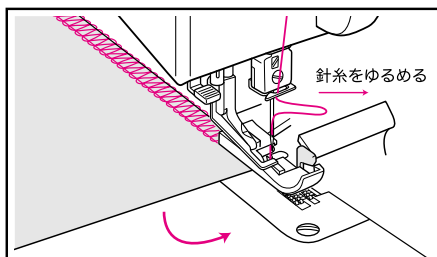
- 2 新しい照明ライトを「照明ライト交換具」に差し、ミシン本体に回して取り付ける。



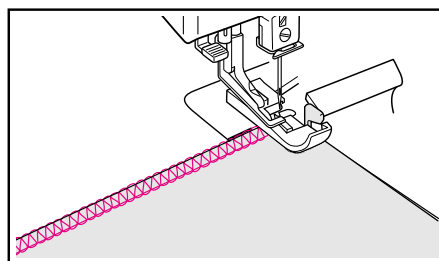
外角を縫う時のポイント



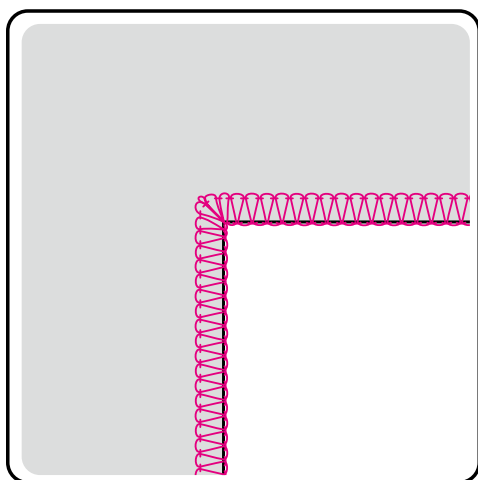
1 角まで来たら押え金と針を上げ、針糸をゆるめる。



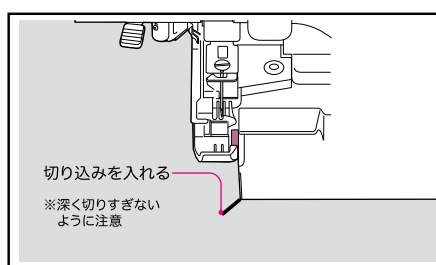
2 生地を90度回転させ、**1**でゆるめた糸をもとに戻して押え金を下げてから再び縫いはじめる。



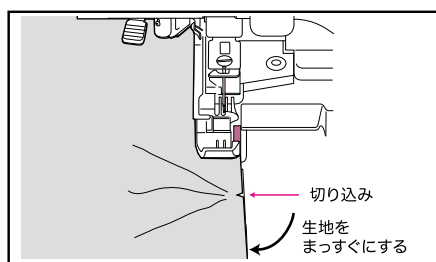
内角を縫う時のポイント



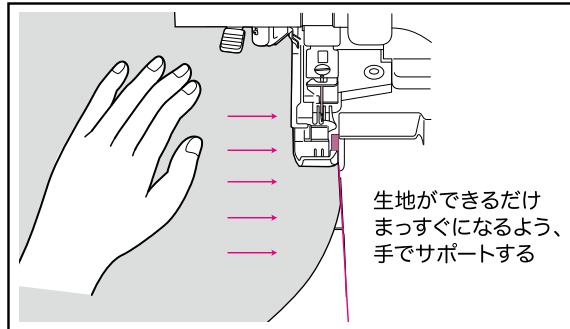
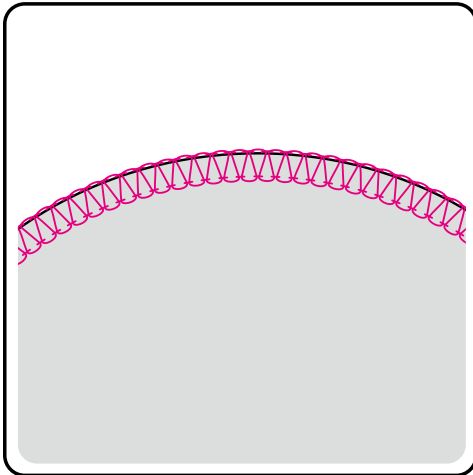
1 最初に内角部分に2~3mmの切れ込みを入れておく。



2 角の手前まで来たら、生地を開いて、まっすぐにしてから縫う。



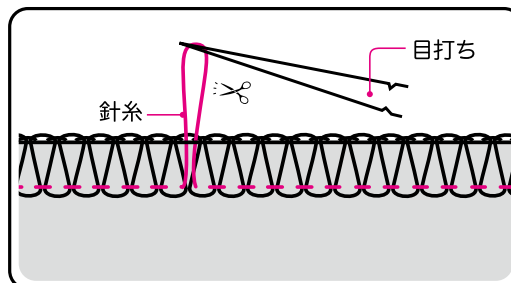
カーブを縫う時のポイント



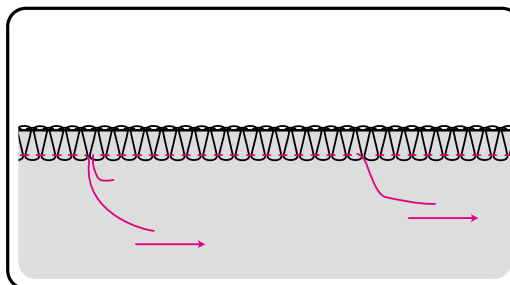
メス位置から針落ち位置までの間、生地がまっすぐになるように、手で生地を右側にサポートしながら縫う。
メスを固定して、メスをガイドにして縫うと縫いやすい。
また、バイヤスの場合はかがり幅を広くすることも効果的。

縫い目のほどき方

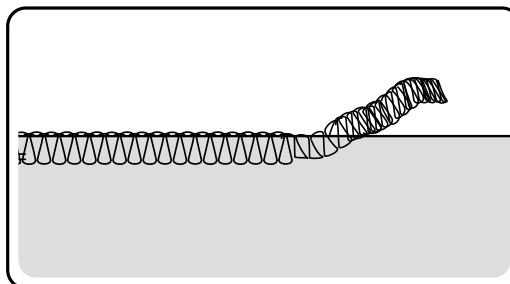
- 1 針糸を数箇所、目打ちなどを使って引き出し切る。



- 2 針糸を引っ張って取り除く。



- 3 針糸が取れるとルーパー糸は簡単に生地からはずれる。

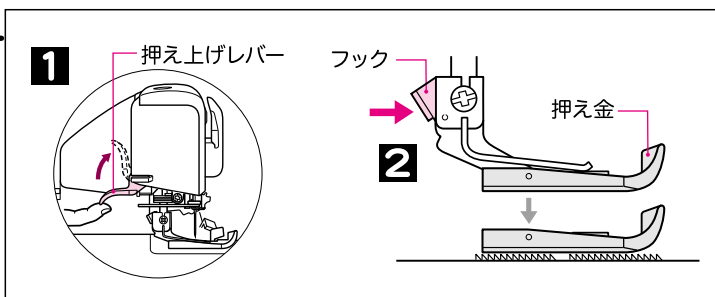


押え金の取り付け・取りはずし方

専用アタッチメント(各種押え金)を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

【取りはずし方】.....

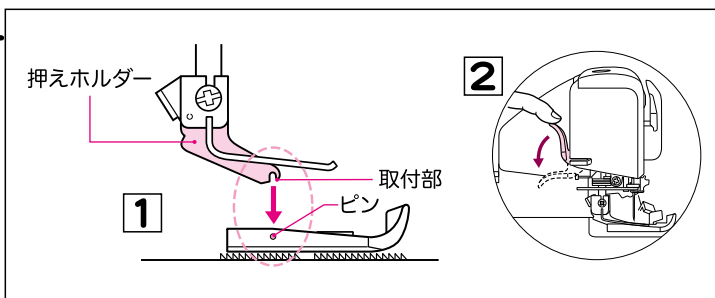
- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金がはずれる。



【取り付け方】.....

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。

ワンポイント
押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーをさげたままフックを押してください。



各種押え金

別売のアタッチメント(押え金)に交換すれば、ビーズ入れやゴム入れ、まつり縫いなど、いろいろな縫い方が楽しくてソーイングの幅がぐんと広がります。

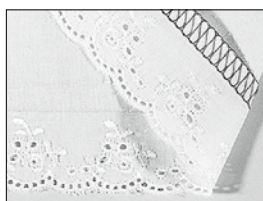
～お求めはベビーロック販売店へ～



まつり縫い(ニット)
ニット用裾まつり押え
2,000円
(税別)



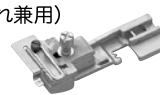
ビーズ入れ
ビーズ押え
2,000円(税別)



レース付け
レース押え
2,000円
(税別)



ゴム入れ
ゴム押え(テグス入れ兼用)
3,000円(税別)



テグス入れ

その他の便利グッズ

切りクズを裁断と同時にまとめる
トリムビン(切りクズ受け)

布を切った後の切りクズを、袋に受けてそのままポイ。ミシン本体の下に敷くだけで、ミシンまわりはいつもクリーン。
2,000円
(税別)



手元がよりワイドに使える専用クリアテーブル

大きな布地を縫うときに便利なクリアテーブル。手元がよりワイドに使い、効率よく作業ができます。〈サイズ:385×455mm〉 9,000円(税別)



防振・防音用ベビーロックマット

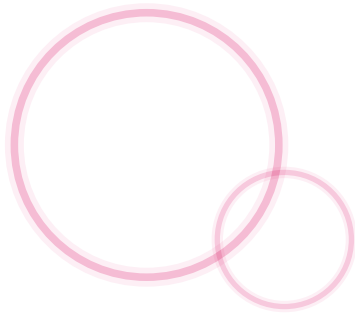
ミシン本体の下に敷くことにより、ミシンの振動や音の発生を軽減します。
2,500円(税別)



ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	☐ 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 5 ☐ 照明ライトスイッチが[1]になっていますか。 5 ☐ はずみ車の「固定の解除」がされていますか。 12	
まったく縫えない！	☐ 押え金下がっていますか。 6	
普通ロックがうまく縫えない！	☐ 送り目ダイヤルが[普通ロック]側の数字になっていますか。 8・9 ☐ 糸調子は適切ですか。 9 ☐ 糸調子皿から糸がはずれていませんか。 9	
巻きロックがうまく縫えない！	☐ 送り目ダイヤルが[巻きロック]側の数字になっていますか。 8・10 ☐ かがり幅ダイヤルが[M]になっていますか。 10 ☐ 糸調子は適切ですか。 10	
目とび、糸切れがする！	☐ 針は指定の[オルガンHA×1 SP]がついていますか。 17 ☐ 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。 17 ☐ 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。 17 ☐ 糸かけが間違っていないですか。 11～15 ☐ 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 11～15 ☐ 古い糸を使用していないですか。 11 ☐ 糸調子が強すぎませんか。 9・10	
メスが布地を切らない！	☐ メス固定ダイヤルが[LOCK(固定)]になっていませんか。 7 ☐ 上メスが磨耗していませんか。 18	
エアレバーを押しても糸が通らない！	☐ 「はずみ車の固定」がされていますか。 12 ☐ ルーパー糸通し上下切換スイッチの位置は正しいですか。 13・14 ☐ 糸通し穴に糸が約2 cm挿入されていますか。 13・14 ☐ 糸通し穴の手前で糸を20 cmほどたるませていますか。 13・14 ☐ 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。 13・14 ☐ パイプの中にゴミがたまっていないですか。 18	
ラクスルー(自動針糸通し)で糸が針穴に通らない！	☐ 「はずみ車緑の指針」が合っていますか。 15	

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



TECHNICAL DATA

■仕様

- 縫い形式：1本針3本糸オーバーロック
- かがり幅：普通ロック 3.0～5.0mm
巻きロック 1.5mm
- 送り目(縫い目の長さ)：0.75～4.0mm
- 縫い速度：毎分1,500針
- 使用針：オルガンHA×1SP(#11,#14)
- 使用糸本数：3本
- 照明ライト：100V 15W
- ミシンの大きさ：奥行280×幅340×高さ290mm
- ミシンの重さ：7.5kg

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



ご使用のてびき



製品ユーザー登録はこちらから

www.babylock.co.jp/user

ベビーロックをもっと活用していただくための
コンテンツや特典をご提供しています。



最新情報や作品づくりのアイディアはホームページとSNSをチェック！

facebook.com/babylockjapan babylock_sewing

株式会社ベビーロック www.babylock.co.jp

本社：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851(代表)

支店：東京 03(5825)9020 名古屋 052(917)3671 大阪 06(6967)3300 福岡 0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要がある場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお勧めします。